

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
企画 イースタンコミュニケーションズ
印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
八女市祈祷院563 〒834-0025
HP : www.wing8.com/dc-city-yame/

「クラッシー」は毎月発行します。紹介したい地域の行事や趣味のサークル、愉快的仲間達その他読者を楽しくさせ、元気づけ人や社会のお役に立つ原稿を募集します。

11 NOV.

	日	月	火	水	木	金	土
							1
12	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT				
心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 11月7日・21日 黒木町ふじの里 11月7日・21日 上陽町地域福祉センター 11月14日・28日 立花町かがやき 11月14日・28日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 11月9日 黒木町ふじの里 11月16日 上陽町地域福祉センター 11月22日				司法書士相談 黒木町ふじの里 11月9日 八女市社会福祉会館 11月16日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日／筑後市立病院		くるぎふるさと日曜市 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時～ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時～ 赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時～ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第4木曜日 午前11時～		1 9月18日 友引 中 由衛健司遺作展～4日 (八女市立図書館)	2 19日 先負 中 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉センター)	3 20日 仏滅 中 文化の日 城戸医院ぶどうの樹 5周年収穫祭(筑後市久富) 帰居祭(おりなす八女) 秋色マルシェ恋びより in水田天満宮 八女文化祭・美術展～9日 (おりなす八女交流棟)
4 21日 大安 中 白木の秋の収穫祭 &文化祭 (旧白木小学校グラウンド)	5 22日 赤口 小 松尾弁財天縁日(立花町) 父祖の歌をなぞる会 (くるめりあ六つ門) 八女筑後歯科医師会 「いいな、いい歯。」週間事業 ～10日(土)まで	6 23日 先勝 小	7 24日 友引 ●小	8 25日 先負 長 べんがらの日 (べんがら村)	9 26日 仏滅 若 市民文化祭 ～11日 (サンコア)	10 27日 大安 中				
11 28日 赤口 中 紅葉・柚の里矢部祭り ウォーク(八女歩こう会)	12 29日 先勝 大	13 30日 友引 大	14 10月1日 仏滅 ●大 なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設)	15 2日 大安 大	16 3日 赤口 中 定例法律相談会(要予約) 10:00～12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	17 4日 先勝 中 人生史サークル黄檗の会 (八女福祉会館) ミニ健康教室 (川崎病院) 八女矢部まつり～18日まで (矢部村) 緋の里巡り in 筑後 ～18日(筑後市北西部の緋工房)				
18 5日 友引 中 日向神紅葉ウォーク (吉田ウォーキングクラブ) 笠原まつり「だっでん祭」 (黒木町)	19 6日 先負 中	20 7日 仏滅 ●小	21 8日 大安 小 社会保険個別相談会 10:00～15:00(八女商工会議所) 要予約 0942-33-6215	22 9日 赤口 小	23 10日 先勝 長 勤労感謝の日 ドミノ大会 (八女市総合体育館・八女JC) 筑紫君を考える講演会 (岩戸山歴史資料館) 秋の収穫祭～24日(土)まで (道の駅たちばな)	24 11日 友引 若				
25 12日 先負 中 滝の宮不動尊縁日 (上陽町)	26 13日 仏滅 中 お風呂の日 (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (不動温泉八女)	27 14日 大安 大 お風呂の日 (べんがら村)	28 15日 赤口 ○大 不動産に関する何でも 相談会 13:00～15:00 (八女商工会議所)	29 16日 先勝 大	30 17日 友引 大					

「なにもかも失せて薄(すさ)い」草田男の一句やら思いながら、水難の矢部川流域、迂回路往來の日々。改めて、水を生む山川草木への畏敬の念を想う深秋11月。去りゆく日々、記録にとめておきたいのは――▼10/15奥八女、矢部の日の払谷、前門岳山麓の村落。風神祭再興の件。この糸口は昭和四年、古老仁田原菊次郎、長田米吉、吉兆幸運の風を呼ぶ佐賀みやきに綾部八幡の神在りと聞き、遠路いとわず参詣、守札、神旗拝受、天神山に神の像を祀る奉安殿造営。戦中戦後、途絶えた祭りを、伝承復活の願い、秋天爽快。佐賀より綾部八幡の宮司様をはじめ参詣多く、「山師音頭」に「木挽き唄」も披露。佳き里の心温まるひさびさの風神祭再興となった。▼9/30天才画家青木繁生誕百三十年記念演劇『底鳴る潮』演出の石山浩一郎さんの招待で観劇。この原作者は福島高校同窓の渡辺洋さんとの石山さんの話。「海の幸」「わだつみのいるこの宮」等の傑作を残した夭折の天才画家青木繁の母の里は八女市室岡の出とは、さして知られない。この劇を見て、「わが国は筑紫の国や白日別、母います国、櫛多き国」の彼の唄の「母います国」、その里を深く胸中に秘めていた所以がよく理解された。「八女おりなす」でも公演を希望。

天宮ふんより 96
深秋の山路に
風の神まつり
詩人推窓 猛